

平成30年度前期 安芸太田中学校の教育活動への保護者・生徒評価 学校評価アンケート<10月実施>集計より

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

< AとBの合計…肯定的評価, CとDの合計…否定的評価 >

(保護者回答)

No	アンケート項目	肯定的	前回比較	否定的
1	生徒は、学校へ行くことを楽しみにしている。 ※	76	-2 ↓	24
2	生徒は、家庭学習に継続して取り組んでいる。 ※	68	-15 ↓	32
3	生徒は、起床時刻・就寝時刻・家庭学習開始時刻を固定している。 ※	65	-16 ↓	35
4	生徒は、安全に通学できている。	89	-3 ↓	11
5	学校は、生徒一人一人に学習内容を理解させるような分かりやすい授業を行っている。	86	9 ↑	14
6	学校は、生徒や保護者に、テスト等の結果や成績について分かりやすく伝えている。	94	4 ↑	6
7	学校は、生徒や保護者に、進路に関する情報を分かりやすく伝えている。	95	16 ↑	5
8	学校は、いじめや体罰・セクハラなどの防止に向けた取り組みを適切に行っている。	89	-3 ↓	11
9	学校は、授業参観や保護者・地域参加の行事等を行い、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	98	4 ↑	2
10	学校は、生徒や保護者の悩みや相談に適切に対応している。	95	7 ↑	5
11	学校は、学校通信やホームページなどで学校の取組や生徒の様子を分かりやすく伝えている。	97	1 ↑	3
12	学校は、生徒に、「なぜ学ぶのか」を理解させ、学びを生き方につなげる教育を行っている。	81	-6 ↓	19
13	学校の施設設備は整っている。	94	9 ↑	6
14	学校行事や生徒会活動、部活動等の活動は、生徒の挑戦心を育むことにつながっている。 ※	92	0 -	8
15	地域活動への参加やボランティア活動の実施は、生徒の社会貢献への意欲を育むことにつながっている。 ※	87	0 -	13
平均		87	0 -	13

保護者満足度 ⇒ 87%!! (H29 最終アンケートと同値)

(生徒回答)

No	アンケート項目	肯定的	前回比較	否定的
1	「3点固定」を実行している。(起床時刻・家庭学習開始時刻、就寝時刻の固定)	59	-13 ↓	41
2	自分にはよいところがあると思う。(自己肯定感)	85	1 ↑	15
3	自分のよさが周りに認められていると思う。(自己存在感)	72	2 ↑	28
4	何か挑戦していることがある。	78	-5 ↓	22
5	日ごろの生活の中で感動することがある。	67	0 -	33
6	感謝の気持ちをもって生活をしている。	87	-6 ↓	13
7	学級・学校・地域の活動に貢献している。(地域貢献の意欲・態度)	80	-1 ↓	20
8	先生は、授業を通してなぜ学ぶのか教えてくれている。(学ぶ意義の理解)	85	2 ↑	15
9	悩みや困っていることなど、相談できる先生がいる。(信頼関係)	80	20 ↑	20
10	授業を通して生き方について考えることがある。(学びを生き方とつなぐ)	74	2 ↑	26
11	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている。	98	- -	2
12	生徒の間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている。	80	- -	20
13	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	87	- -	13
平均		79	2 ↑	21

前回 (H29.2月) 比較
肯定的な回答の平均
値は同値であった。

○生徒の教師への信
頼感は、前回より2
0ポイント向上して
いる。
本校教職員の生徒
への関わり方、教師
としての姿勢等の向
上を図る取組をより
進めていく。

●3点固定は、前回
より-13ポイントも
低下している。
この項目は、生活
習慣、そして学力向
上に反映する項目で
ある。再度指導を見
直し、改善の取組を
行う。

生徒満足度 ⇒ 79%!! (H29 最終アンケートより +2ポイント)

(生徒の授業評価)

全校平均	授業が 分かりやすい	授業が 分かりにくい	授業で 力がついた	授業で力が ついていない
国語	82	16	78	20
社会	78	20	51	47
数学	78	20	51	47
理科	76	22	56	42
音楽	78	20	71	27
美術	63	35	53	44
保体	89	9	80	18
技術	42	56	25	73
家庭	80	17	67	31
英語	61	37	33	33
平均	73	25	57	38

「分かりやすさ」と「力がついた」実感のギャップ

全校で約7割の生徒が、「授業が分かりやすい」と回答している。しかし、力がついたと実感している生徒は、約6割にとどまっている。また、実力テストや学力調査の結果を見ると、十分に実力がついていないと言えない。

このギャップを解消することが、本校の学力向上の重大なポイントである。引き続き、本校教員の授業指導等の利点と改善点を明確にし、学校総体として組織的に授業に対する根本的な考え方や指導改善を進めていく。さらに、「分かりにくい」と回答した生徒はもとより、全生徒の学力や学習への取組に対する実態及び心情(不安や困難性等)の把握を丁寧に行い、生徒個別の課題に対応する指導を行う。

(家庭学習時間の実施状況<生徒回答>)

1 勉強していない	5 1時間30分以上, 2時間より少ない
2 30分間より少ない	6 2時間以上, 2時間30分より少ない
3 30分間以上, 1時間より少ない	7 2時間30分以上, 3時間より少ない
4 1時間以上, 1時間30分より少ない	8 3時間以上

1日の家庭学習時間	8	7	6	5	4	3	2	1
ふだん(月曜日～金曜日)	7	7	15	26	20	9	13	2
休日(土曜日・日曜日・祝日など)	4	2	9	22	28	22	4	7

1時間以上 (2時間以上)
74 (28)
65 (15)

(学 力 向 上)

実力テスト(9月実施)結果

※全国平均
H30.10.26現在

1年	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
本校平均	55.9	69	75.6	68.1	86.7	354.7
全国平均	57.3	61.7	68.6	67.3	79.5	334.4

2年	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
本校平均	65.5	53.9	60	57.8	49.1	286.2
全国平均	58.5	50	52.8	50.8	51.4	263.5

3年	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均
本校平均	57.9	44	42.7	41	48.4	233.9
全国平均	60.5	50.4	47	48.7	59	265.6

全国学力学習状況調査(4月実施)結果

3年	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
本校平均	71	52	50	32	59
町平均	75	56	57	39	65
県平均	76	61	66	46	66
全国平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

実力テスト(9月実施)の結果より

○1学年・2学年の5教科平均は、全国平均をかなり上回っている。1学年国語、2学年英語の改善を重点化する。
○3学年は依然として、学力向上への改善的取組が大きな課題である。国語は、改善傾向が見られ、全国平均との差がかなり縮まっている。数学も改善傾向にあり、以前10～15ポイントの差があったが、今回は、4ポイントの差まで縮小した。

3学年は、実力テスト及び全国学力学習状況調査とも、全国平均値等をかなり下回っている。授業での指導改善、個別の学力課題への対応を引き続き行っていく。家庭学習への取組や宿題の確実な実施及び提出への指導を徹底する。